



主 内容

- 1~2……9月4日に実施の三重県総合防災訓練について
- 3……防災協力事業所登録団体募集、国津の杜の行事、やなせ宿催し
- 4……9月の相談、もしも災害の一日前に戻れたら…

発行/名張市企画財政部広報対話室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎0595-63-7402 ✉pr@city.nabari.mie.jp 🌐http://www.city.nabari.lg.jp

# 9.4

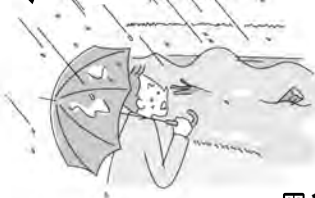
## 三重県総合防災訓練



実施日時 9月4日(日) 午前9時~午後零時30分

メイン会場 名張中央公園(夏見)

# 局地的豪雨の中、震度6強



そのとき、公的機関はどう対応するのか?  
地域では何ができるのか? 100以上の  
団体が連携し、災害時の行動を確認します



☎ 危機管理室 ☎ 63-7271

**名** 張中央公園をメイン会場として、9月4日、三重県総合防災訓練を実施します(名張市総合防災訓練を兼ねます)。総合体育館前駐車場では、救出救護訓練や水防訓練などに地域の皆

さんにご参加いただくほか、自衛隊による災害派遣活動訓練など、より実践的な訓練を見学いただけます。また、総合体育館前では、地震震度体験や防災用品の展示、木造住宅耐震診断の相談などもあります。

### 被害想定

下記の被害想定の下、地震・風水害複合型の防災訓練を実施します

伊賀地方に停滞する前線が刺激され、局地的な豪雨となり河川水位も急上昇。避難判断水位に達しつつある中、9月4日午前9時、三重県西部を震源とする内陸直下型地震(名張断層帯)が発生し、伊賀地域では震度6強を記録。広範囲で、遭難者・生き埋め者など多くの人的被害のほか、家屋倒壊・土砂崩れ・孤立集落・道路や橋梁の損壊・ライフライン・幹線道路の寸断などの甚大な被害が発生している。

### 主な訓練内容

#### 1 情報の収集・伝達

◎市と県が自衛隊や警察などと連携して実施

- ▼現地災害対策本部を開設し、三重県、名張市、伊賀市の各災害対策本部間での情報共有、派遣調整などを実施
- ▼津地方気象台から現地災害対策本部に地震・気象に関する情報を伝達
- ▼自衛隊や警察のヘリ・オフロードバイクなどによる被害状況把握。ヘリからの映像を現地災害対策本部に送信
- ▼副市長が自衛隊ヘリに搭乗し、市内各地域の避難所を現地確認
- ▼災害現場に無線局を開設し、被害状況の情報を収集・伝達
- ▼可搬型衛星通信装置を用いて、県内の被害状況の情報を収集・伝達



#### 2 地域住民の避難・初期対応

◎地域住民や消防団が中心となって実施

- ▼市が勤労者福祉会館に避難所を開設し、警察や消防団の先導で住民が避難を実施。避難所からの情報を現地災害対策本部へ報告
- ▼倒壊建物から出火。住民や消防団がバケツリレーや消火器で初期消火を実施
- ▼住民や消防団がガレキ内の負傷者を救出し、応急手当てを実施。担架で避難所へ搬送。現地の負傷者、被害などの状況を消防機関に説明し、引き継ぐ
- ▼住民が土のう袋に砂を入れて、消防団が土のうを積み、水防活動を実施
- ▼名張、美旗、すずらん台、つつじが丘、百合が丘の各地域でも同時刻に、住民避難や安否確認、避難所開設などの訓練を実施。中央公園などの訓練とも連動



### 参加団体

三重県、名張市、伊賀市、消防、警察、消防団といった地方行政機関、自衛隊や国土交通省などの国機関、電気、電話、ガスなどの公共機関のほか、地域組織や、ボランティア団体、企業、各種法人など、100団体以上が参加。相互が連携し合いながら、災害時の行動を確認します。

※訓練写真は、平成21年10月に実施した名張市総合防災訓練時のものでイメージです。

※地震や風水害などの発生時、訓練を中止する場合があります。開催の有無は、当日午前6時以降に、名張消防署テレホンサービス(☎63-9500)でご案内します。

主な訓練内容

**3 公的機関などによる救出・救助、手当て**  
◎住民の情報により、消防や自衛隊などが救出・救助、医療救護班へ引き継ぐ

- ▼市は県を通じて自衛隊へ災害派遣を要請。自衛隊ヘリで初動小隊が到着。住民から現地の状況について説明を受ける。
- ▼倒壊家屋内の負傷者を災害救助犬により捜索。到着した自衛隊員が救出活動を開始
- ▼名賀医師会や市が現地救護所を設置。あわせて日本赤十字社や自衛隊、医療機関などが、緊急仮設診療所、野外手術システムを設置、医療救護活動を実施
- ▼DMAT（災害派遣医療チーム）がヘリで到着。多数の負傷者へのトリアージ（容態・緊急度に応じた治療の優先順位判断）や応急措置を行い、救護所などへ搬送。また、重症患者をヘリなどにより市立病院に搬送
- ▼住民による初期消火を引き継ぎ、消防機関が消火活動を実施
- ▼消防機関が、地域住民から情報を得た上で、土砂埋没車両から負傷者を救出、搬送



**4 ライフライン復旧、救援物資輸送・避難所支援**  
◎公的機関、民間機関が連携して実施

- ▼専門機関によるライフライン復旧（衛星通信設備車両による緊急電話回線設置、破損したガス管の調査・修理、電気設備の応急復旧により避難所への送電、断水地域への応急給水活動）
- ▼土砂に埋没している車両が通行障害となっているため、建設・土木やレッカー事業者などの協力により、重機で土砂を除去、レッカー車により車両を排除して道路を確保
- ▼警備員の誘導により、避難所への救援物資搬送
- ▼被災者への炊き出しを住民や自衛隊などが協力して実施
- ▼被災建築物の余震による倒壊危険性を建築の専門家が判定



Interview

東日本大震災の教訓を生かした訓練に



危機管理室 深山 哲郎

東日本大震災では、被害が拡大するに伴い、情報が錯綜するなどし、行政などによる「公助」は対応しきれませんでした。こうした中、自分の身は自分で守る「自助」や隣近所で助け合う「共助」は不可欠です。また、行政は、情報を素早く整理しながら、的確な災害対応に結びつけることが求められます。

今回の訓練は、三重県と伊賀市とともに実施するものですが、市内では、中央公園と、5カ所の地域で同時に防災訓練を進行。各地域では、災害対策本部との防災行政無線でのやりとりや救援物資受け入れ、そして、市の職員も参加し、避難所運営訓練などを行う予定です。また、中央公園での各訓練では、「共助」から「公助」へとしっかりバトンタッチできるように、防災関連機関が、住民から被害状況や要援護者の情報などを聞き取る手順を多く取り入れます。

さらに、市と県がともに「現地災害対策本部」を設置し、迅速に被害状況の全体像把握に努め、地域の皆さんをはじめ、災害に対応するさまざまな団体・機関との連携を確認します。

今回の訓練では、どんな団体が、どんな役割を担うのかを間近に見ただけです。訓練には参加されない皆さんも、ぜひ、中央公園などの訓練会場へお越しください。

展示・体験コーナー（総合体育館前）



- ▼各種防災用品の展示
- ▼アルファ米や豚汁の炊き出し
- ▼地震体験車による震度体験
- ▼「災害用伝言ダイヤル171」の利用体験
- ▼携帯電話の災害対策関連ツールの体験
- ▼現地災害ボランティアセンターの運営
- ▼木造住宅耐震診断の相談
- ▼「防災ほっとメール」の登録受付
- ▼自衛隊災害派遣車両の展示
- ▼負傷動物救護のための診療施設運営
- ▼動物のための防災準備品の展示 など
- ◎アンシンダーも出動します。

岐阜県関市と「災害時相互応援協定」を締結しました



東日本大震災時、被災地への支援物資は、主に国や県を通じて避難所に送られましたが、市町村どうしの横のつながりがあったところは、より迅速な対応ができたという事例もありました。

市では、大阪府交野市、奈良県香芝市、和歌山県橋本市と「大規模災害相互物資援助協定」を結んでおり、さらに、8月4日には岐阜県関市と同様の協定を締結しました。今後も、同時に被災しないような遠隔地の自治体との連携を進めていきます。

国土交通省と「災害時の情報交換に関する協定」を締結しました

市は、8月4日、国土交通省中部地方整備局と「災害時の情報交換に関する協定」を締結しました。これにより、市内で重大な災害が発生、または発生の恐れがある場合などに、道路や河川、急傾斜地の被害状況などの情報交換の徹底を図るため、国土交通省中部地方整備局から現地情報連絡員（リエゾン）が市の災害対策本部などに派遣されることとなります。

「FMなばり」や「防災ほっとメール」（要登録）で、9月4日（日）午前9時に訓練開始をお知らせします



三重県総合防災訓練の開始についてもFMなばり（83.5MHz）や防災ほっとメールでお知らせします。これを合図に、各地域でも訓練が開始されます。ご家庭でも、ラジオの受信状況などを確認する機会としてください。

防災週間（8月30日～9月5日）には、毎日数回、FMなばりで防災を呼びかけます。なお、避難勧告の発令時は、広報車やサイレン（※）のほか、FMなばりや防災ほっとメールでも避難・災害情報をお伝えしますので、ご活用ください。

◎地震や風水害などで訓練を中止する際も、FMなばりや防災ほっとメールでお知らせします。また、訓練開催の有無は、当日午前6時以降に名張消防署テレホンサービス（☎63-9500）でもご案内します。

防災ほっとメールにご登録ください



避難や災害の情報を携帯電話に電子メールでお届けします。避難所もご確認いただけます。

<http://www.anshin-bousai.net/nabari/>

に接続すると登録できます。（左記QRコードでも接続可）



※区域内の住民の皆さんへの避難勧告発令時、約1分（5秒休止）のサイレンが鳴ります。サイレン設置場所…名張小、蔵持小、薦原小、新田ポンプ庫、下比奈知ポンプ庫、滝之原ポンプ庫、安部田ポンプ庫、赤目ポンプ庫、箕曲公民館、国津園デイサービスセンター、長瀬公民館、消防本部、桔梗が丘分署、つつじが丘出張所

### 国津の杜の行事

☎ はぐくみ工房あららぎ ☎ 62-6920

**韓国料理教室 夏パテ解消メニュー (ピピムソ-メン、サムゲタン風味スープ・キュウリの直接漬)**

日時 8月27日(土) 午前9時30分～正午  
参加費 1,300円 講師 李辰淑さん 定員 10人  
申込 8月15日(日)から22日(土)までに、電話で問い合わせ先へ ※先着順。参加者が少ない場合は中止。参加費には材料費を含みます。

### なせ宿 催し

☎ 旧細川邸 やなせ宿 ☎ 62-7760

★第3回やなせ宿自然観察教室

日時 9月3日(土) 午後4時～7時  
講師 加納 康嗣さん、伊賀自然の会の皆さん  
内容 やなせ宿周辺での鳴く虫の観察会  
参加費 100円 (保険料など)  
定員 30人程度 ※小学3年生以下の場合は、保護者同伴。雨天中止、小雨決行  
申込 9月2日(日) 午後5時までに電話で問い合わせ先へ ◎月曜日休館

### 赤目公民館主催歴史講座①

#### 中世城館からみた柏原城

日時 8月27日(土) 午前10時～11時30分  
場所 赤目公民館 講師 村田 修三さん (大阪大学名誉教授) ◎申込不要。受講無料

### 市税の滞納処分に伴う

#### インターネット公売を実施

市では、市税の滞納処分として差し押さえた財産(釣り竿・釣り糸)を、ヤフーオークションを利用して公売します。参加申込期間 8月15日(日)午後1時～26日(土)午後11時  
入札期間 9月2日(日) 午後1時～4日(日) 午後11時  
※詳しくは、市ホームページをご覧ください。

☎ 債権管理室 ☎ 63-7155

### 福祉医療費受給資格証の有効期限は8月31日迄まで

#### 新しい受給資格証を送付します

「乳幼児」「一人親家庭等」「心身障害者」「65歳以上重度障害者」の医療費受給資格証は、有効期限が8月31日(日)となっています。

引き続き対象となる人には、8月下旬に新しい受給資格証を郵送します。

ただし、平成22年中の所得が確認できない人

平成23年度所得制限限度額	扶養親族などの人数	乳幼児医療費		一人親家庭等医療費		心身障害者、65歳以上重度障害者医療費	
		保護者所得額	本人所得額	本人所得額	配偶者および扶養義務者所得額	本人所得額	配偶者および扶養義務者所得額
	0人	532万円	192万円	236万円	360万4,000円	628万7,000円	
	1人	570万円	230万円	274万円	398万4,000円	653万6,000円	
	2人	608万円	268万円	312万円	436万4,000円	674万9,000円	
	3人	646万円	306万円	350万円	474万4,000円	696万2,000円	
	4人	684万円	344万円	388万円	512万4,000円	717万5,000円	
	5人	722万円	382万円	426万円	550万4,000円	738万8,000円	

○所得制限限度額を超える人には受給資格証を交付できません。事前にお知らせします。  
○平成22年度に受給できなかった人も、今年度は受給できる場合がありますので、お問い合わせください。

### 労働、金融、年金、税金、介護、子育てなど

#### 暮らしなんでも相談

暮らしのあらゆる相談に弁護士などの専門家が無料で応じます。秘密厳守

日時 8月27日(土) 午前10時～午後4時  
場所 産業振興センターアスパ (南町)  
申込 8月26日(金)までに、氏名、連絡先、相談内容を書いて、ファクス(23-6320)で申込

☎暮らしほっとステーション伊賀 ☎23-6063

### 癒しの時間 健康ヨーガ体感会

#### 参加者募集

日時 9月17日(土) 午後1時～3時  
場所 武道交流館いきいき(蔵持町里)  
指導者 竹川 裕子さん(日本ヨーガ禅道友会認定教師・インド政府公認ヨーガ講師)  
参加費 500円 定員 80人 ※先着順  
申込 8月16日(金)以降に武道交流館いきいきへ直接申し込んでください。

☎ 武道交流館いきいき ☎ 62-4141

### 人権の尊さや、差別解消などを表現した作品を

#### 「作文・ポスター・標語・フォト」を募集

対象 市内在住・在勤・在学(小学生以上)の人  
規定 ◆作文(論文・エッセイ・詩) 400字詰め縦書き原稿用紙5枚程度。詩は400字詰め縦書き原稿用紙1～2枚程度

◆ポスター(イラスト) 用紙は4つ切り、縦横自由。ちぎり絵、切り絵のほか、高校生、一般の人はCGなどの表現方法も可

◆標語 30字以内。400字詰め縦書き原稿用紙に記入

◆フォト(写真) サイズはサービス判からキャビネ判(2L可)まで。白黒、カラーいずれも可。作品への思いやメッセージ(50字以内)を添え、被写体の肖像権など了解を得た上でご応募ください。

※各部門とも、自作の未発表の作品で、1人1点。作品は返却しません。住所と氏名をポスターとフォトは裏面、作文と標語は余白に記入

申込 9月1日(日)から10月14日(土)までに市役所3階人権啓発室、各地区公民館・市民センター、教育集会所へ。市内の小中学校、県立高校に在学の人は学校へ提出

☎ 人権啓発室 ☎ 63-7909

### 「防災協力事業所」登録団体を随時募集中です

事業所や団体による支援の輪を広げる仕組み。7月末現在134件の登録があります。



被災者支援に関して、事業所や団体からの「協力意思」や、人材や物資、不動産などの「資源」を事前に把握し、いざという時のための関係を築いておく「名張市防災協力事業所登録制度」。災害時には、衣類や寝具、医薬品、食料品などの物的支援、電気や医療など専門分野からの人的支援、空き地や空き部屋などを避難場所として活用するなど、可能な範囲で協力いただきます。

7月末現在、医療や建設、不動産、食品などの事業所のほかNPOやボランティア団体など134件の登録をいただいています。

登録は、市役所2階危機管理室で受け付けていますので、市内に店舗や事務所がある事業所や、市内に活動拠点を置く団体(NPO法人・ボランティア団体を含む)の皆さんのご協力をお願いします。

なお、登録事業所や団体の一覧は、市ホームページでご覧いただけます。

☎ 危機管理室 ☎ 63-7271

### 「消防団協力事業所表示制度」協力事業所を随時募集中です

消防団員が入団しやすい活動しやすい環境整備が目的。7月末現在9件の登録があります。

「名張市消防団協力事業所表示制度」は、市消防団に在籍する団員が相当数勤務している事業所や、消防団の活動に積極的に協力している事業所を、「消防団協力事業所」として認定し、その証として表示証を交付する制度です。

表示証は、事業所へ掲出したり自社広告やホームページなどで広く公開したりすることができ、消防団活動への協力を行う社会貢献企業としてのイメージアップを図ることができます。

申請手続きや認定基準など詳しくは、消防本部消防救急室にお問い合わせください。

☎ 消防救急室 ☎ 63-5990

次号予告 認知症を考える

9月の相談

☎は、問い合わせ先電話番号 ※開催場所の連絡先とは限りません。

- 弁護士相談 [9月8日(日) 午前10時~午後3時]
交通事故相談 [9月15日(日) 午後1時~3時15分]
行政相談 [9月15日(日) 午後1時~3時]
司法書士相談 [9月16日(日) 午後1時~4時]
市民・多重債務相談 [平日 午前8時30分~午後5時15分]
人権相談 [9月13日(日) 午後1時30分~4時]
介護相談 (各地区の「まちの保健室」)
▼鴻之台・希中央 ☎63-0805 ▼すずらん台 ☎68-5700 ▼梅が丘 ☎61-3770
▼鷹原 ☎63-6400 ▼つづじが丘 ☎68-7800 ▼比奈知 ☎68-1278
▼美旗 ☎65-5800 ▼錦生 ☎63-2571 ▼百合が丘 ☎64-8600 ▼赤目 ☎63-1381
▼箕曲 ☎63-1073 ▼国津 ☎69-1718 ▼桔梗が丘 ☎65-1299
年金相談 [9月13日(日)・27日(日) 午前10時~午後2時45分]
女性弁護士法律相談 [9月2日(日) 午前10時~正午 午後1時~3時]
女性相談 [第1・3・5週 水・金・土曜日 午後2時~7時]
男性のための相談 [9月8日(日) 午後7時~9時]
メンタルヘルス相談 [9月15日(日) 午前10時~正午]
チャレンジ支援相談 ※要予約 [9月6日(日) 午前10時~正午 午後1時~4時]
おしごと広場みえ ※要予約 [9月7日(日)・21日(日) 午前10時~午後4時]
若者就労相談 ※要予約 [9月13日(日) 午後2時~6時]
若者就労相談 (神須学園) ※要予約 [9月24日(日) 午後2時~5時]
職業相談 (ハローワークプラザ名張) [平日 午前8時30分~午後5時15分]
女性相談 [平日 午前8時30分~午後5時15分]
家庭児童相談 [平日 午前8時30分~午後5時15分]
育児相談 [火~土曜日 午前9時30分~午後5時 (日・月曜日、祝日は休館)]
子ども相談 [平日 午前8時30分~午後5時15分]
教育相談 (不登校相談) [平日 午前8時30分~午後5時]
教育よろず相談(いじめなど) [平日 午前9時~午後6時]
青少年悩み相談 [平日 午前9時~午後5時]
母子家庭相談 [平日(水曜日を除く) 午前9時~午後4時]
子どもの発達相談 [平日 午前8時30分~午後5時15分]
乳幼児健康相談 [9月14日(日) 午前9時30分~11時受付]
食生活・健康相談 [9月6日(日) 午前9時~11時]
こころの健康相談 [9月15日(日) 午後2時~4時]
がん・難病相談 [9月17日(日) 午後1時~4時]

もしも「災害の一日前に戻れたら…」

被災者の体験談をご紹介します。あなたはどう考えますか？

Episode 3 すぐ役に立った防災訓練

福岡県西方沖を震源とする地震(平成17年3月) /福岡市/70代・男性

2004年の12月6日に、初めて小学校区に防災組織をつくりました。「消火班」「避難誘導班」「救出救護班」「情報班」「給食給水班」「防犯班」という6つの班と本部という形でつったわけです。組織を作ったからには、やっぱり訓練をしなきゃいかん、すぐ訓練をしようじゃないかということで、翌月、1月17日に防災訓練を行いました。災害を想定して、老人会などに「避難訓練する人は公民館に集まって」と呼びかけました。そして、安否確認のための点呼を取ったり、担架だけが人を運ん



でみたり、公民館から小学校の体育館までお年寄りを誘導するというような訓練をしました。これが、実際の地震のときに非常に役に立ちました。もし訓練をしていなかったら、校区の役員も何をすればいいのか、途方にくれたでしょうね。何だかんだ言っても、訓練をしないと動けないですからね。

まちの話題

名張発！被災地ボランティア 民家の泥出しなどに尽力



市社協(名張市災害ボランティア支援センター)が初めて企画した「なばり発！ボランティアパック」。東日本大震災で甚大な被害のあった岩手県大槌町で活動しようというもので、市内外から応募した26歳から67歳までの男女17人が参加。7月11日から15日まで、津波被害にあった民家の庭からの泥出しや津波で汚れた写真洗浄などに汗を流しました。23日には参加者が活動を振り返る「語ろうOh!つち」が開催され、「被災者の前向きな姿に心を打たれた」「助け合いの大切さを実感するよい機会になった。ぜひ、もっと多くの人に被災地でのボランティア活動を体験してほしい」「実質3日間の活動で、どこまで役に立てたか分からないが、また被災地の力になりたい」など、熱く語り合いました。

広告

顎関節症外来
三重県顎関節症回復センター
http://gakukansetsu-mie.com
★子供★「かみあわせズレ」
アリス新谷歯科・矯正歯科
ちよつとした悩みでもお電話下さい ☎(0595) 65-1881
診療時間 月 火 水 木 金 土 日 祭
AM 9:30~PM 1:00
PM 3:00~PM 7:30
▲は PM 3:00~PM 6:30 まで
名張市桔梗が丘 2-7-1 8

広告

ハウスクリーニング(キッチン、バス、トイレ、ガラス他)
エアコンクリーニング・床フローリングワックス掛け
ビル清掃管理サービス・家事代行サービス
害虫駆除(白アリ、ゴキブリ、ねずみ、ハチ)
庭木管理サービス・マット モップ 空気清浄器他レンタルサービス
ダスキンエスプリ
TEL65-8411 名張市新田1249-4

福祉・スポーツの世界へも
医療だけでなく、福祉・スポーツ関連にも活かせる資格
リハビリテーションのスペシャリスト理学療法士
オープンキャンパス開催中
9月10日(土) 10:00~
事前予約・お問い合わせは ☎0596-24-2540
学校法人協栄学園 伊勢志摩リハビリテーション専門学校
理学療法学科 昼間部 4年制
伊勢市御油町高向 1058 E-mail: iseshima@yueigakuin.ac.jp

私たちは町のサポーター!
NABARI BUS
「地元住民密着バス」
バス日記
名張エフバス
お問合せ先>> TEL0595-62-7216
三重県名張市蔵持町原出522-8
営業時間: 平日9~17時 土曜日9~12時
HP: http://nabari-f-bus.com/